

四谷の

千枚田だより



第 129 号

お知らせ

六月一日(日)、環境整備活動、保存会はふれあい広場、千枚田入口周辺の草刈り等を実施します。

「お田植え感謝の夕べ」☆

# 灯ろう千枚田 2014

日時 平成26年6月7日(土)午後7時

## 連谷お助け隊

協力：愛知県ふるさと指導員

### 保存会総会

5月10日(土)午後7時30分から連谷会館において平成26年度鞍掛山麓千枚田保存会総会が開催された。昨年度の特記事項としては、「あいち森と緑づくり事業」を連谷お助け隊の絶大な協力を得て五年間実施、地域づくりに大きく貢献、完結。また、昨年度から発足した地域自治区制度の助成で看板等の更新。他の事業、活動等は「四谷の千枚田だより」に掲載したことから省略。

### 平成26年度役員および会員

会長 小山舜二 副会長 高橋孝行 顧問 高橋庄一 小山泰弘  
理事 高橋伸治 今泉雅男 村雲伸一 小山孝夫 林 義明 原田英史 会計 松下 誠  
会員 丸山一虎 金古浩一 夏目宏一 梶村兼夫 稲熊富平 今泉 徹 古田和男 小山秀夫  
小山傳治郎 小山柳二 原田武典 丸地光世 稲熊良隆 原田 勇 河西 忍 計26名

## 工場操業五十周年記念

五月三日、横浜ゴム新城工場操業五十周年記念イベント「みんなで祝おう新城工場祝五十周年」(テーマ「環境と地域共生 キーワード人と自然と共に生きる」)が招待者を含め、二千人余りの参加をもって盛大に開催された。横浜ゴム新城工場は昭和三十九年吹き荒ぶ不況の最中に操業開始、幾多の試練を乗り越え国内外の自動車の足(タイヤ)としてゆるぎない地位を築き地元雇用、市のスポンサー(納税等々)として大きな役割を果たされている。

開会の挨拶で城川工場長は環境活動の一環として環境に優しい四谷の千枚田で生物多様性調査を実施させて頂いている、今後もこのような繋がりを大事にしたい。また、穂積市長も横浜ゴムと四谷の千枚田は「物心」ともに強く結びれている。と大勢の前で「歯の浮くような嬉しい」お褒めの言葉があった。確かに本日のテーマ・キーワードともに毎年行われる新入・幹部社員研修が発端であるような気がしないでもなく鏡割りの地元銘酒「朝日嶽」がヤケに旨かった。

会場には百ほ近くの両サイドにブラスが並び千年の杜植樹会・和太鼓演奏(志多ら)、チェンソーアート等々催しいっぱいの大工場にふさ

わしい祝賀会であった。保存会は田植え前の農繁期にも拘わらず今泉雅男、松下 誠、高橋夫婦、(舜)夫婦が参加した。

### 田植え

・豊橋調理製菓専門学校は四谷の千枚田で田植えから脱穀までの稲作体験、地域料理の実習を毎年行っている。五月八日、一年生三十三名は高低差二百ほのふれあい広場まで棚田の耕作条件の厳しさや環境、文化を(舜)の案内で学び、さわやかな春風を受け昼食。午後は三枚の田んぼを三班に分かれて慣れないながらも楽しく田植えを行った。



豊橋調理製菓専門学校

・JA愛知東では子供たちに実際の農作業を体験してもらい、その活動の中で「農業」と「食料」の関係性



こども農学校

を肌で感じる屋外型教育活動を行っている。五月十日、こども農学校参加者六十五名は高橋庄二(顧問)の指導で田植えを行った。

・五月十日、県立新城高校農業クラブ四十五名は「四谷の千枚田」を守ろうと環境保全活動の一環として稲作実習を実施している。この日は原田英史(理事)の指導で田植えを実施した。



県立新城高校

・五月十四日、連谷小学校全校児童四名は七人の先生と田植えを行った。相変わらず大勢のカメラマンが訪れ、こども達の田植えの仕草にシャッターチャンスを覗いた。

・五月十八日、「棚田の楽耕」五家族十五名が田植えに訪れる。

### 長篠合戦のぼりまつり

五月五日、織田・徳川連合軍の鉄砲隊と武田軍の騎馬隊が激突した長篠の戦いで武田勢の猛攻、兵糧攻めに城主奥平貞昌は「タニシと山菜」で餓えを凌いだと云われる。

この合戦を偲び、長篠合戦のぼりまつりには毎年「四谷の千枚田」のタニシが奉納されている。

### 視察、観祭会、野外学習

・六月一日、鳳来寺山自然科学博物館主催「四谷の千枚田の生きもの観祭会」が小山舜二・西本ふたば同館学術委員を講師に開催される。

・六月三日、静岡県浜松市北区ボラソニア連絡協議会の視察。(舜)

・六月五日、豊橋調理製菓専門学校田の草取り、梅収穫加工、地域料理の実習

・六月六日、市立中部小学校五年生の野外学習が行われる。(舜)対応

行 平成二十六年五月二十日

鞍掛山麓千枚田保存会

発 文 責 小山舜二